

2023年（令和5年）12月29日
高千穂化学工業株式会社

プレスリリース

高千穂化学工業株式会社：VOC14種対応 JCSS 土壌ガス分析用標準ガス「TERRA-SOIL™（テラソイル）」販売開始

高千穂化学工業株式会社（本社：東京都渋谷区広尾1-4-6 以下当社）町田事業所計測ガス工場は、土壌汚染対策法の第一種特定有害物質として指定されている揮発性有機化合物14成分の混合標準ガス「TERRA-SOIL™」について、初めてJCSS（校正事業者登録制度：Japan Calibration Service System）の登録を2023年12月22日に取得し、国際的に通用する JCSS-MRA の認定が認められました。

このJCSS-MRAの認定には、ISO/IEC 17025：2017にもとづく国際トレーサビリティのある校正事業と、ISO/IEC 17034：2016による国際トレーサビリティのある標準物質生産者の認定があります。

土壌汚染対策法では、土壌ガス分析には混合標準液から標準を調製する方法と、JCSS 標準ガスを使用する方法が規定されています。当社は2020年より唯一trans-1, 2-ジクロロエチレンを除く13成分についてJCSSの登録を取得しJCSS登録事業者として土壌汚染対策法に対応するための揮発性有機化合物13成分の混合標準ガスの製造を行ってまいりましたが、2022年8月に経済産業省によりtrans-1, 2-ジクロロエチレンを含む揮発性有機化合物14種混合標準ガスが特定標準物質に追加されたことを受け、このたび新たに揮発性有機化合物14成分の混合標準ガスの登録事業者としての登録を取得しました。また、合わせてベンゼンについて0.1ppm-1ppmの範囲での登録を取得しました。

今回の登録・認定により環境省によって定められている「土壌汚染対策法に基づく土壌ガス調査に係る採取及び測定の方法を定める件（平成15年環境省告示第16号）」の規定に則った混合標準ガスに全成分対応した製品が提供可能となりました。

TERRA-SOIL™では、JCSS 登録標章付校正証明書のほか、国際的に通用する JCSS-MRA 認定シンボル付校正証明書を発行致します。

当社は国内にトレーサビリティの確保された揮発性有機化合物（VOC）標準ガスがまったくなかった1996年に、国内初の VOC 標準ガスを開発し、土壌汚染測定用標準ガスも国内初として2000年より供給して参りました。

TERRA-SOIL™は、揮発性有機化合物14種を一つの容器に充填した混合標準ガスとして、1年の濃度保証を付け、軽量で移動に容易な3 L、0.76Lアルミ容器を中心として供給致します。また、容器に取り付けて使用する圧力調整器（レギュレーター）は VOC フリーでデッドスペースを減らした小型の TERRA-03RF も併せて販売しております。

TERRA-SOIL™ JCSSにおける成分と濃度範囲

成分名		濃度 (ppm)
塩化ビニル	C2H3Cl	1
1,1-ジクロロエチレン	1,1-C2H2Cl2	1
ジクロロメタン	CH2Cl2	1
trans-1,2-ジクロロエチレン	t-1,2-C2H2Cl2	1
cis-1,2-ジクロロエチレン	c-1,2-C2H2Cl2	1
1,1,1-トリクロロエタン	1,1,1-C2H3Cl3	1
四塩化炭素	CCl4	1
ベンゼン	C6H6	0.1-1
1,2-ジクロロエタン	1,2-C2H4Cl2	1
トリクロロエチレン	C2HCl3	1
trans-1,3-ジクロロプロペン	t-1,3-C3H4Cl2	1
cis-1,3-ジクロロプロペン	c-1,3-C3H4Cl2	1
1,1,2-トリクロロエタン	1,1,2-C2H3Cl3	1
テトラクロロエチレン	C2Cl4	1

お問い合わせ先：高千穂化学工業株式会社 町田事業所計測ガス工場VOC多種グループ 高杉佳路

電子メール：takasugi-y@takachiho.biz

高千穂化学工業株式会社は、認定基準としてISO/IEC 17025を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IAJapan)は、アジア太平洋認定協力機構(APAC)及び国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互認証に署名しています。当社町田事業所計測ガス工場は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS 0013は、当工場の認定番号です。